

北斗通信

(令和7年1月号)

1. 埼玉県	中学卒業予定者の進路希望状況から	1
資料①	埼玉県中学卒業予定者の進路希望調査	6
資料②	埼玉県私立高校の希望状況	7
2. 埼玉県	私立中学の中間応募状況	2
資料③	埼玉県私立中学中間応募状況(1月6日現在)	8
3. 埼玉県	県立高校の再編整備計画がパブリックコメントに	3
資料④	パブリックコメントからの抜粋	11
4. 東京都	中学校校長会の進路希望調査から	3
資料⑤	東京都公立中学校校長会の進路希望状況調査	13
5. 文部科学大臣	中教審へ 学習指導要領改訂への諮問	4
資料⑥	初等中等教育における教育課程の基準の在り方	14
6. 千葉県	高校入試の改善から	5

会員限定情報「北斗通信」
令和7年1月15日
岩佐教育研究所
TEL048-688-4698
FAX048-675-0219
E-mail shohokuto@gol.com
無断転載を禁じます。

cg

1. 埼玉県 令和7年3月中学卒業予定者の進路希望調査から 資料① 埼玉県 中学3年生の進路希望調査の概要 資料② 埼玉県私立高等学校への進路希望状況

埼玉県教育局は、1月9日に、令和7年3月県内中学校卒業予定者の12月15日現在の進路希望状況をまとめ発表した。

卒業予定者には、県内の養護・聾学校等の特別支援校が含まれる。

この調査結果から、

- ① 志望校調査を実施した埼玉県内の中学校卒業予定者が昨年度より189人減少し、6万2548人(昨年度は6万2737人)となっていた。

令和7年度公立高校全日制課程の総募集校は、131校で、募集学級は、887学級で3学級減、募集人員は、35,480人で同120人の減となっている。

- ② 高等学校への進学希望者は98.6%で昨年より0.3%増加した。

全日制高校への進学希望者は、在籍の88.1%でこちらは0.3%下降した。

- ③ 県内公立高校・全日制への希望の人数は、卒業予定者の63.8%から63.2%へ

0.6%減少(469人減少)し3万9225人へ、私立高校は239人の増加になっていた。(県内331人増、県外92人減)

調査は、県内国・私立中学校も含まれ、県内私立中卒業予定者は3,121人で、前年より26人減少している。

- ④ 公立高校・全日制の志望倍率は、1.12倍と前年より0.1倍下降し、普通科は0.2倍上昇して1.21倍だった。
- ⑤ 普通科の学校ごとでは、川口市立2.43倍、市立浦和2.36倍、市立川越2.24倍、上尾2.05倍、浦和南1.85倍、越谷南1.84倍、浦和西1.79倍、大宮1.76倍、越ヶ谷1.72倍、大宮北1.73倍、川越南1.62倍、鳩ヶ谷1.60倍、志木1.58倍、蕨1.55倍などとなっていた。

前年2校だった2倍を超えた学校は今年は4校だった。

学級増をした草加西は、0.87倍と1倍を下回り、学級減の川口市立は2.43倍、

越谷東は0.98倍、鶴ヶ島清風は0.69倍、栗橋国際は0.56倍などとなっている。

などの傾向が読み取れる。

- ⑥ 一方で、普通科で定員に達しない学校は、37校(含むコース)あった。前年の38校から1校減少している。
- ⑦ 全日制課程で県外への進路希望は国立132人、公立381人、私立3,691人となっていた。

- ⑧ 私立高校の前年からの志願者増加では、西武文理が210人、以下川越東77人、狭山ヶ丘71人、栄東53人、聖望学園47人、浦和麗明39人、武南38人などとなり、志願者の減少では、大宮開成-85人、西武台-62人、秋草学園-45人、花咲徳栄-40人などとなっていた。地域ごとの在籍の増減、募集要件の変更などの要因が大きそうだ。

在籍の微減(189人)でしたが、公立希望者は469人減少しています。県内私学は、卒業予定者が3,121人と前年より36人減少しましたが、第一志望者は11,186人と331人増加しています。高校卒業生の大学進学率の上昇があり、私学に期待する層の増加があるようです。

県内外私立への希望者は、3,691人と92人減少していました。埼玉県私学への助成金(父母負担軽減事業)が県内私学に限定されていることが影響していると考えられます。

最近数年来の傾向ですが、通信制希望者の増加が目につきました。

公立高校の統合再編の準備のため、6年度入試では、6校の募集が停止となりましたが、募集困難校を中心とする廃校によって、行き場を失った生徒たちの新たな進路先としてのこの傾向は、今後とも続いていくと思われます。

一方、進学希望校未定者は、290人で前年より81人減少しています。また、通信制希望者が前年より348人増加し、4,170人となっていました。東京通信大学やZEN大学など通信制の大学の開校、全日制的短期大学の閉校が話題となっていますが時代の変化を感じさせられます。

2. 埼玉県 私立中学の中間応募状況発表

資料③ 埼玉県中学入試 中間応募状況(1月6日現在)

埼玉県総務部学事課は、1月8日、県内中学の中間応募状況(1月6日現在)をまとめた。前年は4日現在のため出願数は目安となる。

今年度は、31校で3,704人の募集となって前年より4人減となっている。ただし、内部進学を除くため、実際の募集人員と異なる。

募集の増減では、新たに募集開始となった開智所沢中等教育学校に240人の募集に対し約15,000人の応募があり、前年の6,873人を大きく上回っていた。栄東は、12,700人でほぼ前年並みとなっていた。

開智所沢は、1回の出願で最大5回の応募が出来ること、岩槻開智との併願が可能なことなどから、出願総数で増減を比較することはで

きないが、応募数が急増したことには間違いがないと思われる。

前年より2日遅い集計となったが、総応募者は76,599人で、前年と比較して16,082人増加していた。

インターネット出願校の増加があり、1月10日の入試解禁日直前まで出願を受け付ける学校が多いこと、1回の出願で複数回の受験を可能としている学校が多いこと、出願受付以前の学校・受験があることなどで、一概にこの数値だけで判断はできない。

県内の小学校6年生は、前年と比較し120人減少し60,127人となり、都内の公立小6年生は、667人増加し98,137人となっている。

また、学習指導要領の改訂や更なる大学入試改革もあり、首都圏全域の中学入試の受験生は、増加していると見られ、埼玉は、この影響も大きいようだ。

令和7年度の大学入試改革は新たな局面を迎え、さらに10年度では更なる改革が予想される。社会の変化もあり中学受験は益々活性化しそうだ。

3. 埼玉県 県立高校の再編整備計画 パブリックコメントに 資料④ パブリックコメントから抜粋 第4章

1月9日、埼玉県教育局は、「今後の県立高校の在り方」および「再編整備計画」について「魅力ある県立高校づくり」としてまとめた。

2016年に策定した改革推進計画を、今後の少子化、社会環境の変化などを勘案し見直すものとしている。

10日に教育局のホームページでパブリックコメントとして発表した。

[miryokuhoushin_an.pdf](#)

方針案として

- ① 2038年4月までに県立高校を現在の131校から15～19校減少させ110校程度にする。
- ② 具体的に再編の校名が入った計画は、2、3年毎に5期に分けて発表する。第一期は今年中に発表する予定だ。
- ③ 計画では、南部・さいたま市・県央地区39校から35～37校へ、東部・利根地区

38校から31～33校へ、南西部・川越・比企・西部地区38校から30～32校へ、北部・秩父地区16校から13～15校へとなる。尚、男女別学校が対象となれば、その時点で共学化を検討する。

- ④ 中高一貫教育校も検討の対象とする。
 - ⑤ 普通教育の中で探求的な学びを重点的に実施する学科、一つの高校に複数の専門学科を設置すること、普通科と専門学科の並置などを進める。また、海外の大学進学に対応できる国際教育プログラムを持つ学科や、学校や自宅で柔軟に学べる学科等を検討する。
- などとしている。

少子化については、昨年の公立中学卒業生が約59,000人で38年3月には約44,000人となり25%減少することを指している。

4. 東京都 中学校長会の進路希望調査から

資料⑤ 東京都 令和7年3月中学卒業予定者の進路希望調査の概要

東京都教育庁は、1月8日に中学校長会が実施した、令和7年3月都内公立中学校の卒業予定者の都立高校への進路希望状況を発表した。都内公立中学校卒業生予定者は、昨年度の78,108人より252人減少し77,856人になった。

一方、都立高校の定員は、全日制で8学級320人の定員減を行っている。定員総計は

40,315人となり、公私間協定における合意人数40,800人を下回っていた。

令和6年度から協定比率の基となる計画進学率を94%から93%にしたことによって、公立高校の定員が概ね300人減少している。

6年度入試から、男女合同選抜が実施されたため、コースを含む普通科の志願者は、33,157人、倍率は1.32倍となった。前年の

36,281 人志願倍率は、1.32 倍とであり、志望倍率は変わらなかった。

前年は、全日制の進路未定者が 369 人だったが、今年度は 261 人と減少しており、コロナ禍の 5 類移行に伴い志望校の選択は、比較的に順調であったことが窺える。

都立全日制の志願者は、卒業予定数 252 人減少の中で 3,711 人減少しており、都立の

募集定員の減と私学への助成金の大幅な増加を受けて私学志向が予想される。

都立・普通科(全日制)の倍率は、普通科倍率は、ほぼ前年並みとなりそうだ。しかし、専門学科への志願者は 1 割程度減少すると見られる。

都立不合格見込みは前年の 9,670 人から大幅に減少し、5,960 人前後となると見られる。

都内公立中学校在籍者の都立希望者(全日制)は、66.97%で、前年の 71.98%、一昨年の 71.60%から一気に減少する見込みとなっています。人数では 3,711 人の減少です。都立高校は、8 学級 320 人の定員減をしていますので、4,000 人程度は前年より都立不合格者が増加することになります。このまま都立希望者が全員受験をすると、全日制全体では 5,960 人前後の不合格者が出ることになります。

都立志向の変化に伴い、私立歩留まりは、大幅に低下することになるかもしれません。

5. 文部科学大臣 中教審への 学習指導要領改訂への諮問

資料⑥ 初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について

阿部文部科学大臣は、12 月 25 日小・中・高等学校の学習指導要領の改訂を中央教育審議会に諮問した。およそ 10 年毎の改訂に向けた審議が開始される。

現行の学習指導要領は、と令和 2 年に小学校、3 年に中学校、4 年に高等学校で全面的に施行され、「主体的・対話的で深い学び」を重視し、授業を生徒主体に変える(アクティブラーニング)などを求めている。また、小・中・高校の評定の基となる「観点別評価」を全て「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の 3 つに整理している。

諮問内容は、およそ 2 年間審議され、令和 8 年度中に答申され、移行期間を経て令和 12 年度以降に逐次施行される見込みとなる。

諮問の骨子は、

- ①デジタル技術が発達する一方で負の側面が顕在化しており、自分と似た情報にばかり振れる検証を踏まえ情報教育の充実について検討する。
 - ②学校の裁量の拡大。授業時数は増やさないが、小学校では 1 授業時間 45 分を 40 分にして、余白の時間を活用する。
- などとなっている。

現行の指導要領の際のような大きな変化は感じられませんが、教員の勤務環境が厳しくなっていることや、不登校児童の増加、自立的に学ぶ生徒が少ないことなどを踏まえてとされています。

教員の希望者の減少などが前提にあると思います。

また、諮問された内容は「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」となっていました。

現行の学習指導要領が完成期を迎えた時期に、早くも次期学習指導要領の論議が開始されます。現場の先生方が振り回されることが予想されます。

6. 千葉県 高校入試の改善を発表

12月18日、千葉県教育庁は、高校入試の改善を発表した。

- ① 令和8年度入試から、配慮の必要な生徒の心理的な負担にならないよう調査書の記載項目を精選するとされ、総合的な学習の時間、出欠の記録、行動の記録、総合所見などが対象となる。

また、7年度入試に於いても不登校経験がある生徒について、出席の状況のみをもって不利益な取り扱いをしないこととしている。

また、欠席が多い理由について、自己申告書を提出できることとしている。

- ② 令和9年度入試から、学力検査「国語」の放送による聞き取り検査を廃止する。

「放送による聞き取り検査」に代わり、話し合いの場面等を設定した文章による出題とすることで、「話すこと・聞くこと」の領域に関する資質・能力を複数の問題から、見取ることができるようにする。

とされている。

閑話休題

新年明けましておめでとうございます。

前年は能登地方の大地震や航空機事故と不穏な年明けとなりましたが、今年度は日本海側の大雪による雪害がマスコミ報道を賑わせています。関東では、晴天続きの穏やかな年越しとなりました。

令和7年度入試が迫っております。インフルエンザが猛威を振るっていますそんな中で、埼玉県内の中学入試がスタートしました。間もなく5回目の大学入学共通テストが開始されます。新課程による新たな教科を含む初めての共通テストになります。

高校受験では、東京・埼玉で受験生の進路希望調査の結果が発表されています。都県とも在籍の減少だけではなく同校の変化で、公立希望者が減少し、通信制志向の高さを感じさせる結果となっていました。

埼玉では、令和9年度からの公立高校の入試改革によって、調査書から出欠の記録、諸活動の記録が削除されますが、千葉県では、8年度から、更に総合的な学習の記録が無くなります。東京都や神奈川県では、既に出欠の記録はなくなっていました。部活動の地域委嘱、中体連の大会の3年後からの縮小、保健室やデイサービスへの参加の出席扱いなどを受けて、現行の調査書の情報の担保が難しくなったためと思われます。通知表はどうなるのか、学習指導要録は変更するのか？この問題については、令和12年ころに施行される次代の学習指導要領にて解決されることになりそうです。

先生方のご健勝を心より念じております。本年も精一杯頑張っまいりますので、何とぞ宜しく御願い申し上げます。

埼玉県 令和6年3月中学校卒業予定者の進路希望調査 12月15日現在

1 進路希望状況の概況

- ① 高等学校等進学希望者の割合は 98.6%で、前年同期より 0.3 ポイント上昇しました。（下表 2 行目）
また、進学希望校未定者を合わせた高等学校等進学希望者総数の割合は 99.1%で、前年同期より 0.2 ポイント上昇しました。（下表 19 行目）
- ② 全日制高校への進学希望者の割合は 88.1%で、前年同期より 0.3 ポイント低下しました。（下表 3 行目）
- ③ 通信制高校への進学希望者の割合は 6.7%で、前年同期より 0.6 ポイント上昇しました。（下表 10 行目）
- ④ 就職等希望者の割合は 0.2%で、前年同期より 0.1 ポイント低下しました。（下表 14 行目）

○令和6年12月15日現在の進路希望状況

区 分	令和6年12月15日現在		前年同期		前年同期との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1 中学校等卒業予定者数	62,548 人	100.0 %	62,737 人	100.0 %	△189 人	
2 高等学校等進学希望者	61,667 人	98.6 %	61,690 人	98.3 %	△23 人	0.3P
3 全日制高等学校	55,107 人	88.1 %	55,438 人	88.4 %	△331 人	△ 0.3P
4 県内合計	50,903 人	81.4 %	51,153 人	81.5 %	△250 人	△ 0.1P
5 国立	159 人	0.3 %	271 人	0.4 %	△112 人	△ 0.1P
6 公立	39,558 人	63.2 %	40,027 人	63.8 %	△469 人	△ 0.6P
7 私立	11,186 人	17.9 %	10,855 人	17.3 %	331 人	0.6P
8 県外合計	4,204 人	6.7 %	4,285 人	6.8 %	△81 人	△ 0.1P
9 定時制高等学校	949 人	1.5 %	1,025 人	1.6 %	△76 人	△ 0.1P
10 通信制高等学校	4,170 人	6.7 %	3,822 人	6.1 %	348 人	0.6P
11 高専・中等教育・別科	146 人	0.2 %	158 人	0.3 %	△12 人	△ 0.1P
12 特別支援学校	1,295 人	2.1 %	1,247 人	2.0 %	48 人	0.1P
13 専修学校等進学・入学希望者	117 人	0.2 %	160 人	0.3 %	△43 人	△ 0.1P
14 就職等希望者	129 人	0.2 %	168 人	0.3 %	△39 人	△ 0.1P
15 その他の者	635 人	1.0 %	719 人	1.1 %	△84 人	△ 0.1P
16 進学希望校未定者	290 人	0.5 %	371 人	0.6 %	△81 人	△ 0.1P
17 進路未定者	214 人	0.3 %	232 人	0.4 %	△18 人	△ 0.1P
18 上記以外の者	131 人	0.2 %	116 人	0.2 %	15 人	0.0P
19 高等学校等進学希望者 + 進学希望校未定者	61,957 人	99.1 %	62,061 人	98.9 %	△104 人	0.2P
20 進学・入学希望者のうち 併せて就職を希望する者	37 人	0.1 %	20 人	0.0 %	17 人	0.1P

令和6年12月15日現在中学3年生の進路希望調査

令和6年12月15日現在中学3年生の進路希望調査

私立【令和6年12月15日】 (単位:人) 中学在籍								私立【令和5年12月15日】 (単位:人) 中学在籍							
学校名	進学希望者			5月1日 計	過年度比較			学校名	進学希望者			5月1日 計			
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		男	女	計
聖望学園	97	86	183	63	39	8	47	聖望学園	58	78	136	32			
細田学園	111	97	208	59	16	11	27	細田学園	95	86	181	30			
浦和麗明	81	116	197			31	39	浦和麗明	73	85	158				
淑徳与野		230	230	123		10	10	淑徳与野		220	220	125			
慶應義塾志木	138		138		-6		-6	慶應義塾志木	144		144				
山村国際	98	83	181		11	-4	7	山村国際	87	87	174				
本庄第一	149	79	228	34	2	-23	-21	本庄第一	147	102	249	48			
正智深谷	138	98	236		18	-15	3	正智深谷	120	113	233				
大宮開成	114	105	219	137	-24	-61	-85	大宮開成	138	166	304	145			
叡明	134	183	317		-30	-5	-35	叡明	164	188	352				
山村学園	97	126	223		5	8	13	山村学園	92	118	210				
本庄東	125	101	226	71	-9	-10	-19	本庄東	134	111	245	79			
立教新座	289		289	200	9		9	立教新座	280		280	203			
武蔵越生	160	84	244		-16	8	-8	武蔵越生	176	76	252				
狭山ヶ丘	138	70	208	54	48	23	71	狭山ヶ丘	90	47	137	50			
武南	158	129	287	33	25	13	38	武南	133	116	249	50			
東京成徳大深谷	78	112	190	16	-28	15	-13	東京成徳大深谷	106	97	203	15			
東邦音大附東邦第二	4	10	14		-8	-5	-13	東邦音大附東邦第二	12	15	27				
浦和実業学園	275	261	536	63	-13	40	27	浦和実業学園	288	221	509	59			
星野	157	282	439	162	-6	17	11	星野	163	265	428	202			
浦和明の星女子		171	171	173		5	5	浦和明の星女子		166	166	171			
大妻嵐山		83	83	44		-17	-17	大妻嵐山		100	100	59			
浦和ルーテル学院	21	45	66	66	-7	-5	-12	浦和ルーテル学院	28	50	78	69			
城西大学付属川越	193		193	99	29		29	城西大学付属川越	164		164	74			
埼玉栄	321	229	550	110	13	-48	-35	埼玉栄	308	277	585	113			
武蔵野音大附		7	7		-5	3	-2	武蔵野音大附	5	4	9				
栄東	193	157	350	323	23	30	53	栄東	170	127	297	280			
浦和学院	244	212	456		12	-10	2	浦和学院	232	222	454				
秀明	47	28	75	65	-1	7	6	秀明	48	21	69	63			
昌平	152	135	287	116	9	17	26	昌平	143	118	261	107			
獨協埼玉	130	135	265	176	-1	-1	-2	獨協埼玉	131	136	267	173			
春日部共栄	165	129	294	125	-21	8	-13	春日部共栄	186	121	307	81			
城北埼玉	122		122	106	-24		-24	城北埼玉	146		146	140			
西武台	120	76	196	47	-17	-45	-62	西武台	137	121	258	46			
秀明英光	139	63	202		-9	7	-2	秀明英光	148	56	204				
西武学園文理	289	237	526	90	96	114	210	西武学園文理	193	123	316	102			
秋草学園		142	142			-45	-45	秋草学園		187	187				
早稲田大学本庄	169	129	298		25	-18	7	早稲田大学本庄	144	147	291				
花咲徳栄	141	147	288		-46	6	-40	花咲徳栄	187	141	328				
開智	239	158	397	331	-11	-9	-20	開智	250	167	417	374			
開智未来	74	54	128	85	9	2	11	開智未来	65	52	117	86			
川越東	245		245		77		77	川越東	168		168				
埼玉平成	115	46	161	7	23	-4	19	埼玉平成	92	50	142	10			
東京農業大学第三	209	112	321	59	-17	20	3	東京農業大学第三	226	92	318	67			
自由の森学園	96	67	163	93	33	-9	24	自由の森学園	63	76	139	95			
東野	55	50	105		-8	17	9	東野	63	33	96				
国際学院	85	64	149	19	13	2	15	国際学院	72	62	134	11			
栄北	84	69	153		13	-6	7	栄北	71	75	146				
私立計	6189	4997	11186	3149	249	82	331	私立計	5940	4915	10855	3159			

令和6年12月15日現在の県内私立高校への進学希望者の前年度(12月15日)との比較です。

※1 国私立の中学も調査対象です。

- ・令和6年12月15日現在の県内私立高校への進学希望者の前年度(12月15日)との比較です。
- ・国私立の中学も調査対象です。

令和7年度埼玉県私立中学校入試応募状況(中間)

50音順

学校名	外部募集人員	回 次	試験日	試験科目	発表日・方法	1月6日現在 外部出願者数	前年度最終 外部出願者数	願書受付期間
青山学院大学系属浦和ルーテル学院中学校 048-711-8221 さいたま市緑区	共学	20名	第1回4科型 1/10	◆	1/11 イ	317	319	12/1~1/6
			第1回英検利用型 1/10	※	1/11 イ	42	54	12/1~1/6
			第2回4科型 1/18	◆	1/20 イ	31	158	12/1~1/16
浦和明の星女子中学校 048-873-1160 さいたま市緑区	女子	160名	第1回 1/14	◆	1/16 イ	1,895	1,980	12/16~1/6
			第2回 2/4	◆	2/5 イ	受付前	324	1/22~2/3
浦和実業学園中学校 048-861-6131 さいたま市南区	共学	80名	第1回午前特待 1/10午前	◆	1/10 掲、イ	466	484	12/1~1/10 AM2:00
			第1回午後特待 1/10午後	○	1/10 掲、イ	443	475	12/1~1/10 AM2:00
			第1回適性検査型 1/10午後	※	1/12 掲、イ	369	514	12/1~1/10 AM2:00
			第2回午前特待 1/12午前	◆	1/12 掲、イ	231	318	12/1~1/12 AM2:00
			第2回午後特待 1/12午後	※	1/12 掲、イ	130	122	12/1~1/12 AM2:00
			英語 1/17	※	1/17 掲、イ	61	48	12/1~1/17 AM2:00
			第2回適性検査型 1/19	※	1/21 掲、イ	345	603	12/1~1/19 AM2:00
			第3回 1/25	◆	1/25 掲、イ	204	257	12/1~1/25 AM2:00
大妻嵐山中学校 0493-62-2281 比企郡嵐山町	女子	80名	帰国生 12/7	※	12/7 イ	0	2	受付終了
			まなびカエクスパート 1/10午前	○	1/10 イ	72	61	12/2~1/7
			第1回大妻一般 1/10午後	○ ◆	1/11 イ	303	382	12/2~1/7
			大妻特待 1/11午前	◆	1/12 イ	108	131	12/2~1/7
			適性検査型 1/11午後	※	1/13 イ	37	54	12/2~1/7
			第2回大妻一般 1/23午前	○ ◆	1/23 イ	89	147	12/2~1/20
大宮開成中学校 048-641-7161 さいたま市大宮区	共学	150名	第1回 1/10	◆	1/11 イ	1,981	2,359	12/2~1/8
			特待生選抜 1/12	◆	1/13 イ	880	1,131	12/2~1/10
			第2回 1/14	◆	1/15 イ	902	1,388	12/2~1/12
開智中学校 048-795-0777 さいたま市岩槻区	共学	280名	1 1月国際生 11/10	※	11/12 イ	39	今年度から実施	受付終了
			海外在住生対象オンライン 11/16	※	11/18 イ	6	今年度から実施	受付終了
			1 1月帰国生 11/23	※	11/23 イ	12	59	受付終了
			1 1月インター生 11/23	※	11/23 イ	12	今年度から実施	受付終了
			1 2月帰国生 12/17	※	12/17 イ	9	今年度から実施	受付終了
			1 2月インター生 12/17	※	12/17 イ	8	今年度から実施	受付終了
			第1回 1/10	◆	1/10 イ	3,906	2,525	12/2~1/10
			創発クラス(特待A) 1/11	◆	1/11 イ	2,202	931	12/2~1/11
			算数特待 1/11	※	1/11 イ	2,044	840	12/2~1/11
			第2回 1/12	◆	1/12 イ	3,235	1,974	12/2~1/12
			特待B 1/15	◆	1/15 イ	2,627	1,391	12/2~1/15
			日本橋伊願 2/4	○ ◆	2/4 イ	受付前	347	1/10~2/4
開智未来中学校 0280-61-2021 加須市	共学	120名	探究1 1/10	※	1/11 イ	89	82	12/1~1/9
			第1回 1/10	○	1/10 イ	288	288	12/1~1/9
			探究2 1/11	※	1/12 イ	82	112	12/1~1/10
			算数1科 1/11	※	1/11 イ	141	150	12/1~1/10
			T未来 1/12	※	1/12 イ	208	183	12/1~1/11
			第2回 1/14	※	1/14 イ	186	184	12/1~1/13
			開智伊願型 1/15	◆	1/16 イ	1,604	1,474	12/2~1/15
春日部共栄中学校 048-737-7611 春日部市	共学	160名	第1回午前 1/10午前	◆	1/10 イ、郵	276	316	12/1~1/9
			第1回午後 1/10午後	○ ◆	1/10 イ、郵	392	431	12/1~1/9
			第2回午前 1/11午前	◆	1/11 イ、郵	246	297	12/1~1/10
			第2回午後特待 1/11午後	◆	1/11 イ、郵	287	385	12/1~1/10
			第3回午後 1/13午後	○	1/13 イ、郵	311	340	12/1~1/12
			第4回午前特待チャレンジ 1/15午前	○	1/15 イ、郵	284	348	12/1~1/14
国際学院中学校 048-721-5931 北足立郡伊奈町	令和5年度から生徒募集停止							
埼玉栄中学校 048-621-2121 さいたま市西区	共学	110名	第1回 1/10午前	◆	1/10 イ	1,664	1,940	12/1~1/9
			第2回 1/10午後	○	1/10 イ	1,266	1,556	12/1~1/9
			第3回 1/11午前	◆	1/11 イ	630	805	12/1~1/10
			第4回 1/11午後	○	1/11 イ	630	610	12/1~1/10
			第5回 1/13午前	◆	1/13 イ	252	518	12/1~1/12
			帰国生 1/13午前	※	1/13 イ	0	2	12/1~1/12

学校名	外部募集人員	回 次	試験日	試験科目	発表日・方法	1月6日現在 外部出願者数	前年度最終 外部出願者数	願書受付期間	
埼玉平成中学校 049-294-8080 入間郡毛呂山町	共学	75名	帰国生	12/14	※	12/14 イ	0	0	受付終了
			第1回 2科・4科	1/10	○◆	1/10 イ	117	137	12/1~1/7
			第1回 1科	1/11	※	1/11 イ	23	23	12/1~1/10
			第2回 2科・4科	1/13	○◆	1/13 イ	52	60	12/1~1/11
			第2回 1科	1/18	※	1/18 イ	19	23	12/1~1/17
			第3回 1科	2/6	※	2/6 イ	18	18	12/1~2/5
栄東中学校 048-667-7700 さいたま市見沼区	共学	215名	A日程（東大）	1/10	◆	1/12 イ	5,090	5,597	12/2~1/7
			A日程（経開大）	1/11	◆	1/12 イ	3,733	2,421	12/2~1/7
			東大特待Ⅰ	1/12	※	1/13 イ	1,171	1,497	12/2~1/11
			B日程	1/16	◆	1/17 イ	2,167	3,500	12/2~1/15
			東大Ⅱ	1/18	◆	1/19 イ	580	980	12/2~1/17
			帰国生A日程	1/11	※	1/12 イ	8	11	12/2~1/7
			帰国生B日程	1/16	※	1/17 イ	8	10	12/2~1/15
狭山ヶ丘高等学校付属中学校 04-2962-3844 入間市	共学	80名	第1回	1/10	※	1/11 イ、郵	89	89	12/2~1/9
			第2回	1/12	※	1/13 イ、郵	84	100	12/2~1/11
			第3回	1/16	※	1/16 イ、郵	89	83	12/2~1/15
			第4回	2/6	※	2/6 イ、郵	44	45	12/2~2/5
自由の森学園中学校 042-972-3131 飯能市	共学	78名	A・B	1/11	※	1/15 郵	130	151	受付終了
			C①	2/1	○	2/1 郵	受付前	16	1/15~1/24
			C②	2/22	○	2/22 郵	受付前	5	2/6~2/13
秀明中学校 049-232-6611 川越市	共学	80名	第1回	12/1	※	12/3 イ、郵	73	77	受付終了
			第2回	1/12	※	1/14 イ、郵	44	34	12/4~1/10
			第3回	2/8	※	2/11 イ、郵	受付前	4	1/15~2/6
淑徳与野中学校 048-840-1035 さいたま市中央区	女子	160名	医進コース特別	1/10	○	1/11 掲、イ	678	525	12/1~1/7
			第1回	1/13	◆	1/14 掲、イ	2,077	1,793	12/1~1/7
			第2回	2/4	◆	2/5 掲、イ	受付前	161	1/14~2/3
城西川越中学校 049-224-5665 川越市	男子	85名	特別選抜 1回	1/10午後	○	1/10 イ、郵	109	150	12/12~1/9
			特別選抜 2回	1/11午前	○◆	1/11 イ、郵	101	139	12/12~1/10
			総合一貫 1回	1/10午前	○◆	1/10 イ、郵	131	179	12/12~1/9
			総合一貫 2回	1/11午後	○	1/11 イ、郵	125	175	12/12~1/10
			総合一貫 3回	1/18	○◆	1/18 イ、郵	47	72	12/12~1/17
			総合一貫 4回	2/5	○	2/5 イ、郵	15	30	12/12~2/4
			帰国生	1/10午前	○	1/10 イ、郵	1	1	12/12~1/9
昌平中学校 0480-34-3381 北葛飾郡杉戸町	共学	130名	第1回一般	1/10午前	○◆	1/10 イ	182	180	12/2~1/6
			第1回グローバル	1/10午前	※	1/10 イ	14	25	12/2~1/6
			第1回Tクラス	1/10午後	◆	1/11 イ	167	175	12/2~1/6
			第2回一般	1/11午前	○◆	1/11 イ	173	194	12/2~1/6
			第2回グローバル	1/11午前	※	1/11 イ	13	25	12/2~1/6
			第2回Tクラス	1/11午後	※	1/12 イ	92	87	12/2~1/6
			第3回一般	1/12午前	○◆	1/12 イ	150	205	12/2~1/12
			第3回Tクラス	1/13午前	◆	1/13 イ	144	155	12/2~1/13
			第4回一般	2/5午前	○◆	2/5 イ	133	192	12/2~2/5
城北埼玉中学校 049-235-3222 川越市	男子	160名	第1回	1/10	◆	1/10 イ	267	340	12/9~1/8
			特待	1/10	○	1/10 イ	306	352	12/9~1/8
			第2回	1/11	○◆	1/11 イ	267	380	12/9~1/10
			第3回	1/12	○◆	1/12 イ	155	270	12/9~1/11
			第4回	1/18	○	1/18 イ	83	90	12/9~1/17
			第5回	2/4	※	2/4 イ	14	25	12/9~2/4
西武学園文理中学校 04-2954-4080 狭山市	共学	121名	第1回	1/10午前	○◆	1/11 イ	585	794	12/2~1/8
			特待	1/10午後	○◆	1/11 イ	270	306	12/2~1/8
			第2回	1/12午前	○◆	1/13 イ	250	337	12/2~1/11
			第1回ポテンシャルα・β	1/12午前	※	1/13 イ	20	今年度から実施	12/2~1/10
			適性検査型	1/18午前	※	1/22 イ	340	532	12/2~1/16
			英語4技能	1/18午前	※	1/20 イ	23	23	12/2~1/16
			第3回	2/5午前	○	2/6 イ	89	157	12/2~2/4
			第2回ポテンシャルα・β	2/5午前	※	2/6 イ	10	今年度から実施	12/2~2/3

学校名	外部募集人員	回 次	試験日	試験科目	発表日・方法	1月6日現在 外部出願者数	前年度最終 外部出願者数	願書受付期間				
西武台新渡中学校 048-424-5781 新座市	共学	80名	帰国生	12/14	※	12/16 掲、イ	0	2	受付終了			
			第1回	1/10午前	○ ◆	1/10 掲、イ	138	187	12/1～1/10			
			第1回特待	1/10午後	○ ◆	1/10 掲、イ	123	140	12/1～1/10			
			第2回	1/11午前	○ ◆	1/11 掲、イ	122	154	12/1～1/11			
			第2回特待	1/11午後	○ ◆	1/11 掲、イ	91	116	12/1～1/11			
			適性検査型	1/14午前	※	1/15 掲、イ	35	60	12/1～1/14			
			第1回チャレンジ	1/14午後	○ ◆	1/14 掲、イ	84	121	12/1～1/14			
			第2回チャレンジ	1/25午前	○ ◆	1/25 掲、イ	75	106	12/1～1/25			
聖望学園中学校 042-973-1500 飯能市	共学	80名	第1回 2科4科型	1/10	○ ◆	1/11 イ、郵	142	137	12/5～1/9			
			第2回 適性検査型	1/11	※	1/18 イ、郵	177	210	12/5～1/10			
			第3回 2科4科型	1/12	○ ◆	1/13 イ、郵	73	94	12/5～1/11			
			第4回 2科4科型	1/18	○ ◆	1/19 イ、郵	27	46	12/5～1/17			
			第4回 プレゼンテーション	1/18	※	1/20 イ、郵	5	10	12/5～1/14			
			第4回 英語	1/18	※	1/20 イ、郵	3	8	12/5～1/17			
			第5回 2科4科型	2/3	○ ◆	2/4 イ、郵	12	13	12/5～2/2			
			東京成徳大学深谷中学校 048-571-1303 深谷市	共学	70名	第1回	1/10	※	1/10 イ	20	20	12/1～1/8
第2回	1/11	※				1/11 イ	17	19	12/1～1/8			
第3回	1/18	※				1/18 イ	15	19	12/1～1/16			
第4回	1/26	※				1/26 イ	15	21	12/1～1/24			
東京農業大学第三高等学校附属中学校 0493-24-4611 東松山市	共学	70名	第1回	1/10午前	○ ◆	1/10 イ	93	108	12/8～1/9			
			第2回	1/10午後	※	1/10 イ	103	89	12/8～1/9			
			第3回	1/11	○ ◆	1/11 イ	66	99	12/8～1/10			
			第4回	1/25	○	1/25 イ	48	56	12/8～1/24			
陽進埼玉中学校 048-977-5441 越谷市	共学	160名	帰国子女	12/15	※	12/15 イ	2	3	受付終了			
			第1回	1/11	◆	1/11 イ	1,000	1,138	12/1～1/10			
			第2回	1/12	◆	1/12 イ	533	657	12/1～1/11			
			第3回	1/17	◆	1/17 イ	484	622	12/1～1/16			
			武南中学校 048-441-6948 蕨市	共学	80名	第1回午前	1/10午前	○ ◆	1/10 イ	401	379	12/10～1/9
						第1回午後 適性検査	1/10午前	※	1/10 イ	95	101	12/10～1/9
第1回午後	1/10午後	○ ◆				1/11 イ	309	354	12/10～1/9			
第2回	1/12	○ ◆				1/13 イ	50	109	12/10～1/11			
第2回 適性検査	1/12	※				1/13 イ	7	16	12/10～1/11			
第3回	1/19	○ ◆				1/20 イ	30	93	12/10～1/18			
第4回	1/26	※				1/27 イ	12	21	12/10～1/25			
聖野学園中学校 049-223-2888 川越市	共学	100名				進学クラス第1回	1/10	○	1/10 イ	412	483	12/1～1/9
			増設選抜クラス第1回	1/10	※	1/10 イ	424	564	12/1～1/9			
			増設選抜クラス第2回	1/11	◆	1/11 イ	384	540	12/1～1/10			
			進学クラス第2回	1/11	○	1/11 イ	470	585	12/1～1/10			
			総合選抜	1/14	※	1/14 イ	426	528	12/1～1/13			
維田学園中学校 048-471-3255 志木市	共学	120名	第1回 帰国生	12/2	※	12/2 イ	0	0	受付終了			
			第2回 帰国生	1/7	※	1/7 イ	0	1	受付終了			
			第1回 一般	1/10	◆	1/10 イ	210	168	12/1～1/9			
			第1回 d o t s	1/10	※	1/10 イ	89	151	12/1～1/9			
			第1回 特待生	1/10	○ ◆	1/10 イ	152	105	12/1～1/9			
			第2回 一般	1/11	※	1/11 イ	204	155	12/1～1/10			
			第2回 特待生	1/11	○ ◆	1/11 イ	139	25	12/1～1/10			
			第3回 一般	2/4	◆	2/4 イ	139	111	12/1～2/3			
本庄第一中学校 0495-24-1332 本庄市	共学	70名	単願	1/10	※	1/11 イ、郵	24	22	12/5～1/7			
			第1回一般	1/11	○ ◆	1/12 イ、郵	12	12	12/5～1/7			
			第2回一般	1/26	○	1/26 イ、郵	8	16	12/5～1/24			
本庄東高等学校附属中学校 0495-27-6711 本庄市	共学	90名	第1回	1/10	○ ◆	1/10 イ	82	77	12/16～1/6			
			第2回	1/17	○ ◆	1/17 イ	72	79	12/16～1/13			
立教新座中学校 048-471-2323 新座市	男子	140名	第1回	1/25	◆	1/26 イ	1,329	1,744	12/18 12:00～1/18 23:59			
			第2回	2/3	◆	2/3 イ	23	266	12/18 12:00～2/2 16:59			
			帰国児童	1/25	※	1/26 イ	5	5	12/18 12:00～1/18 23:59			

- ・ 試験科目の表記は次のとおり。○：2科目、◆：4科目、○ ◆：2科目か4科目かの選択、※：それ以外の試験科目
- ・ 発表方法の表記は次のとおり。掲：掲示、イ：インターネット、郵：郵送、手渡し：手渡し
- ・ 「回次」は、各校の表示による。
- ・ なお、上表に関する詳細については、各校へお問い合わせください。
- ・ 試験当日にインフルエンザ発症や交通途絶などにより受験できなかった者を対象に追試験を実施する学校があります。追試験の実施の有無、手続等については各校へお問い合わせください。

令和7年度埼玉県私立中等教育学校入試応募状況（中間）

50音順

学校名	外部募集人員	回 次	試験日	試験科目	発表日・方法	1月6日現在 外部出願者数	前年度最終 外部出願者数	願書受付期間	
開智所沢中等教育学校 04-2951-8088 所沢市	共学	300名	第1回国際生	11/10	※	11/12 イ	73	今年度から実施	受付終了
			海外在住生対象オンライン	11/16	※	11/18 イ	14	今年度から実施	受付終了
			第2回国際生	11/23	※	11/23 イ	43	55	受付終了
			第3回国際生	12/17	※	12/17 イ	36	今年度から実施	受付終了
			第1回	1/10	◆	1/10 イ	4,032	2,309	12/2～1/10
			特待A	1/11	◆	1/11 イ	2,434	910	12/2～1/11
			算数特待	1/11	※	1/11 イ	2,254	882	12/2～1/11
			第2回	1/12	◆	1/12 イ	3,431	2,033	12/2～1/12
			特待B	1/15	◆	1/15 イ	2,858	1,385	12/2～1/15
			日本橋併願	2/4	○ ◆	2/4 イ	受付前	394	1/10～2/4

- ・ 試験科目の表記は次のとおり。○：2科目、◆：4科目、○ ◆：2科目か4科目かの選択、※：それ以外の試験科目
- ・ 発表方法の表記は次のとおり。掲：掲示、イ：インターネット、郵：郵送、手渡し：手渡し
- ・ 「回次」は、各校の表示による。
- ・ なお、上表に関する詳細については、各校へお問い合わせください。
- ・ 試験当日にインフルエンザ発症や交通途絶などにより受験できなかった者を対象に追試験を実施する学校があります。追試験の実施の有無、手続等については各校へお問い合わせください。

県立高校の再編整備

1 基本的な考え方

県教育委員会は、平成30年（2018年）4月に策定した「魅力ある県立高校づくり実施方策策定に向けて（再編整備の進め方）」により再編整備を進めており、県立高校の設置数は、平成30年（2018年）4月の139校が、令和8年（2026年）4月に131校となる予定です。

令和8年度（2026年度）以降、公立中学校等卒業生数は、更に減少することが見込まれ、131校のまま高校数を維持した場合、全県的に一定の学校規模（注）を維持することが困難な高校が増加し、そのような高校では、設置学級数が減ることで、生徒が学ぶことのできる教科・科目や、部活動等の教科以外の活動の選択肢が減ってしまうことが懸念されます。

生徒の希望によって多様な教科・科目の選択ができるようにするなど、多様な教育ニーズに応えていくためには、地域の状況等を踏まえながら一定の学校規模（注）の維持に努めることが必要です。

また、産業構造の変化やグローバル化など、高校教育を取り巻く状況は大きく変化しており、一人一人の能力と希望に応じて、生徒の持つ可能性を伸ばしていくためには、社会の変化を踏まえて高校の特色化や活性化を図ることが必要です。今後、更に生徒数が減少していく中で、一定の学校規模（注）の維持に努めるとともに、高校の特色化や活性化を図っていくため、学科改編や学校の統合など再編整備に取り組んでいきます。

再編整備の対象となる学科・学校、新しく設置する学科・学校の特色等については、全県を俯瞰ふかしながら、以下の「再編整備の観点」を踏まえ総合的に検討した上で、今後、県教育委員会が「実施方策」を示すこととします。

<再編整備の観点>

- ・ 各県立高校の生徒数の現状と周辺の公立中学校等卒業生数の見込み
- ・ 学科などの教育内容
- ・ 周辺の高校の設置状況や交通の利便性、通学の状況

（注）学校規模（全日制課程）については、生徒の興味・関心や多様な進路選択に対応できる教科・科目の開設、学校行事の充実等の観点から、1学年当たり6学級以上が望ましいと考えています。

2 中学校等卒業生数の見込みと今後の県立高校数

公立中学校等卒業生数は、令和6年（2024年）3月から令和20年（2038年）3月までの14年間で、約58,900人から約44,100人へ約14,800人減少することが見込まれます。

地域別では、南部・さいたま・県央地域は、約21,200人から約17,900人へ約3,300人の減少、南西部・川越比企・西部地域は、約18,000人から約12,800人へ約5,200人の減少、東部・利根地域は、約14,600人から約10,300人へ約4,300人の減少、北部・秩父地域は、約4,900人から約3,000人へ約1,900人の減少が見込まれます。

今後の県立高校数については、一定の学校規模を維持することを考慮しながら、県全体や地域別の公立中学校等卒業生数の減少の状況や高校数を踏まえると、令和20年（2038年）4月を目途に、県立高校131校（注1）を116～112校（△15～19校）程度とすることが必要と考えています。

地域別には、南部・さいたま・県央地域では39校を37～35校（△2～4校）、南西部・川越比企・西部地域では38校を32～30校（△6～8校）、東部・利根地域では38校を33～31校（△5～7校）、北部・秩父地域では16校を15～13校（△1～3校）とすることを検討していきます。

なお、再編整備の対象となる学科・学校、新しく設置する学科・学校の特色等を示す「実施方策」については、公立中学校等卒業生 数の減少の状況や実施校数の平準化を図る観点から、5期程度に分けて示すこととします。

3 設置を検討する特色ある学科・学校

- (1) 普通教育を主とする学科*及び専門学科* 普通教育を主とする学科*については、生徒の興味・関心を高められる特色ある科目を設定した、従来の普通科とは異なる新しい 学科の設置を検討します。

新しい学科については、地域との連携の中で、環境問題や地域の課題を題材に、探究的な学び*を重点的に行う科目を設定する学 科などの設置を検討します。

専門学科*については、産業構造の変化やデジタル社会の進展などの社会の変化に対応した学科の設置を検討します。 具体的には、ロボットや航空機など先端技術を活用したものづくりを学ぶ学科や、都市デザインやインフラ整備など街づくりに 必要な専門的な知識や技術について学ぶ学科など、科目を横断的に学ぶ学科の設置を検討します。

また、情報社会の中でデジタルトランスフォーメーション（DX）*を推進することのできる人材の育成に向け、データやデジタル技術の活用などに必要な専門的な知識や技術を学ぶ学科の設置を検討します。

- (2) 普通科と専門学科*及び専門学科同士の併設、総合学科*

生徒の興味・関心や社会の変化に対応するために、異なる学科や他分野と連携した学びを提供できるよう、普通科と専門学科や、農業、工業、商業など異なる分野の専門学科*の併設を検討します。また、将来の職業や生き方を、自分の興味・関心のある分野の学びを踏まえて考えることができるよう、農業、工業、商業など特色ある学びができる教科の充実した総合学科の設置を検討します。

- (3) 高い語学力や思考力を育む、国際教育プログラム*を導入した学科

高い語学力や思考力を育成でき、海外大学への留学や進学希望にも対応できる国際教育プログラム*を導入した学科の設置を検討 します。

また、設置校で得られる知見を生かして、海外大学等への進学を希望する全ての県立高校生の相談・支援を行うことを検討しま す。

- (4) 柔軟な学び方を実現する高校

スポーツや文化活動など学校外での活動に特に力を入れている生徒や不登校経験のある生徒などが、自らの希望や状況に応じて 学べる課程の設置を検討します。 具体的には、学校で学ぶ時間を選べる昼夜開講の課程と、自宅で学ぶことを中心とする課程を併設し、課程の変更を柔軟に行う ことができる昼夜開講定時制・通信制の高校の設置を検討します。

- (5) 中高一貫教育校

中高一貫教育校は、部活動や学校行事など様々な場面で幅広い年齢の生徒が互いに関わり合いながら学校生活を送ることができるとともに、6年間の継続性のある学びやゆとりを生かした教育課程が編成できるという特長があります。今後の児童生徒数や近隣中学校への影響などを考慮しながら、中高一貫教育校の設置を検討します。

令和7年度 都立高校全日制等志望予定(第1志望)調査結果(概要)

〔東京都中学校長会進路対策委員会〕

〔志望率の推移〕

年 度	卒業予定者数 A	全 日 制 高 校							D の う ち 都 立 高 校			
		全日制高校志望予定者数					全日制進学志望率(%)		都立高校志望予定者数		都立高校志望率(%)	
		B	C Bのうち志望校未定者		D Bのうち志望校決定者		B/A		E		E/D	
7	77,856	68,529	(71,111)	261	68,268	(70,850)	88.02	(91.34)	45,720	(48,149)	66.97	(67.96)
6	78,108	69,042	(71,525)	369	68,673	(71,156)	88.39	(91.57)	49,431	(51,752)	71.98	(72.73)
5	77,692	69,361	(71,810)	415	68,946	(71,395)	89.28	(92.43)	49,362	(51,657)	71.60	(72.35)
4	76,402	68,969	(71,113)	396	68,573	(70,717)	90.27	(93.08)	48,818	(50,877)	71.19	(71.94)
3	72,991	66,352	(68,054)	461	65,891	(67,593)	90.90	(93.24)	47,033	(48,632)	71.38	(71.95)

注1 B欄「全日制高校志望予定者数」及びE欄「都立高校志望予定者数」には、東京都立産業技術高等専門学校志望予定者を含む。

注2 都立高校志望率は、志望校が決定している全日制高校志望予定者数に対する都立高校志望予定者の比率をいう。

注3 ()は、昼夜間定時制高校で全日制と同様な時間帯での履修を志望している生徒を含んだ人数及び志望率。

〔令和7年度都立高校全日制等志願者数の内訳〕

学 科 等			事 項		募集人員		志望予定者数		志望倍率		志 望 予 定 調 査 倍 率			
											6年度	5年度	4年度	3年度
学 年 制	A 普 通 科		27,119	(5,568)	33,157	1.22	1.32	(男) 1.29	(男) 1.30	(男) 1.28				
								(女) 1.34	(女) 1.34	(女) 1.35				
			コ ー ス	320	(96)	270	0.84	1.14	0.89	1.11	0.80			
			在京外国人生徒等	80		84	1.05	1.08	0.63	0.78	0.86			
		海外帰国生徒等	62		13	0.21	0.31	0.26	0.31	0.23				
	B 農 業 科		630	(217)	739	1.17	1.08	1.20	1.08	1.09				
	C 工 業 科		2,412	(960)	1,949	0.81	0.79	0.78	0.87	0.89				
	D 科 学 技 術 科		385	(133)	369	0.96	1.13	1.21	1.30	1.19				
	E 商 業 科		1,330	(532)	1,180	0.89	0.91	0.84	0.80	0.75				
	F ビジネスコミュニケーション科		385	(154)	351	0.91	0.92	0.87	0.94	0.99				
	G 水 産 科		70	(28)	70	1.00	1.03	0.74	1.16	-				
	H 家 庭 科		315	(93)	281	0.89	0.94	0.95	0.76	1.47				
	I 福 祉 科		70	(20)	61	0.87	0.54	0.70	0.71	1.29				
	J 理 数 科		80	(16)	106	1.33	1.18	1.95	2.08	-				
	K 体 育 科		76	(24)	92	1.21	1.08	1.07	0.89	1.18				
	L 国際科	一 般 生 徒		140	(42)	212	1.51	1.80	2.34	2.00	1.39			
			海外帰国生徒	日本人学校出身者	15	18	0.45	0.68	0.83	0.83	0.70			
		外国の学校出身者	25											
			在京外国人生徒等	25	34	1.36	0.72	0.64	0.44	0.76				
		国際バカロレアコース	日本人生徒募集	15	50	2.50	2.25	1.75	1.75	1.60				
	外国人生徒募集	5												
	M 併 合 科		105	(2)	14	0.13	0.19	0.17	0.20	0.10				
N 産 業 科		420	(168)	370	0.88	0.94	0.86	1.07	1.13					
単 位 制	O 普通科	一 般 生 徒	2,653	(507)	2,989	1.13	1.24	1.24	1.26	1.20				
		在京外国人生徒等	20		32	1.60	1.20	0.80	0.80	1.40				
	P 工業科	一 般 生 徒	160	(64)	120	0.75	0.78	0.60	0.66	0.62				
		在京外国人生徒等	15		12	0.80	1.20	0.47	0.40	0.60				
	Q 家 庭 科		70	(21)	58	0.83	0.94	1.00	0.63	1.06				
	R 芸術科	音 楽	40	(12)	38	0.95	1.28	0.90	0.78	0.93				
		美 術	80	(24)	148	1.85	1.80	1.78	2.35	1.81				
		舞 台 表 現	40	(12)	44	1.10	1.50	1.40	1.85	1.80				
	S 総合学科	一 般 生 徒	2,340	(714)	2,598	1.11	1.16	1.12	0.99	1.01				
		在京外国人生徒等	20		21	1.05	0.55	0.35	0.60	0.13				
計			39,522	(9,407)	45,480	1.15	1.24	1.22	1.23	1.22				
T	東京都立産業技術高等専門学校		260	(96)	240	0.92	0.98	1.02	1.13	1.09				

注1 募集人員は、分割募集実施校の第二次募集期間における募集(分割後期募集)の募集人員(346人)を除く。

注2 募集人員欄の右段()は、推薦入学募集人員で内数。

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について (令和6年12月25日中央教育審議会諮問)【概要】

子供たちを取り巻くこれからの社会の状況

- 不確実性の高まり（少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展等）
→子供たちは、激しい変化が止まることのない時代を生きる
- 労働市場の流動性の高まり、リスナージの人生モデルへの転換
→自らの人生を舵取りする力を身に付けることの重要性
- 内なるグローバル化やデジタル化の負の側面等による社会の分断の芽への指摘
→多様な他者と、当事者意識を持った対話により問題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」を育てる必要性
- テクノロジーは変化に伴う困難だけでなく多様な個人の思いを具現化するチャンスも生み出す
→生産年齢人口が急減する中、あらゆる資源を総動員し、全ての子供が豊かな可能性を開花できるようにすることが不可欠

現在の学校現場の状況

- 現行学習指導要領は、「社会に開かれた教育課程」を理念に掲げ、「何を学ぶか」だけではなく、「何ができるようになるか」を明確化し、「どのように学ぶか」の重要性を強調し、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を提示
- コロナによる制約に苦しみながらも、GIGAスクール構想による1人1台端末環境も活用し、質力的な授業改善が行われてきた
- 全国学力・学習状況調査やOECDのPISA調査において地域間格差・学力格差の改善も見られている
→我が国の初等中等教育は、質の高い教師の努力と熱意に支えられ、大きな成果を上げ続けている

顕在化している課題

- ① **主体的に学びに向かうことができない子供の存在**
学ぶ意義を十分に感じだせず、主体的に学びに向かうことができない子供の増加
- ・不登校児童生徒、特別支援教育の対象となる児童生徒や外国人児童生徒、特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の充実とともに、多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の実現が喫緊の課題
- ・これらに向き合うことは、「正義主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

② 学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば

- ・習得した知識を現実の事象と関連付けて理解すること、概念としての知識の習得や深い意味理解をすること、自分の考えを持ち、根拠を持って明確に説明すること、自律的に学ぶ自覚がある生徒が少ないこと、等に依然として課題
- ・子供の社会参画の意識、将来の夢を持つ子供の割合等についても、改善傾向も見られるものの国際的に見て低い状況

③ デジタル学習基盤の効果的な活用

- ・デジタル学習基盤(※)は、一人一人のよさを伸ばし、困難の克服を助ける大きな可能性を秘めているが、効果的な活用は緒に就いたばかり
- ・我が国のデジタル競争力は国際比較でも低位であり、デジタル人材育成強化は喫緊の課題
- ・「デジタルの力でリアルな学びを支える」との基本的な考えに立ち、バランス感覚を持って、積極的に取り組む必要

(※) GIGAスクール構想による1人1台端末やクラウド環境等のデジタル学習基盤

- 子供たちが社会で活躍する2040年代を展望するとき、**初等中等教育が果たすべき役割はこれまで以上に大きい**

→これまでのよい部分を継承し、課題を乗り越え、高等教育との接続改善や国際的な潮流にも配慮しながら、新たな時代にふさわしい在り方を構築する必要

- 教師の努力と熱意に対して過度な依存はできず、**教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合う必要性**

→令和6年8月の中央教育審議会答申に基づく教員の勤務環境整備と整合させつつ、「令和の日本型学校教育」を持続可能な形で継承・発展

※別途諮問している「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成を加速するための方策について」に係る検討と連携

初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について

主な審議事項

1 質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方

- 生成AIが発展する状況の下、知識の概念としての習得や深い意味理解を促し、学ぶ意味や社会とのつながりが重要となる中、そうした授業改善に直結する学習指導要領とするための方策（特に、各教科等の中核的な概念等を中心に、目標・内容を一層構造化）
- 目標・内容の記載に表形式等を活用すること、学校種間・教科等間の関係を俯瞰しやすくすることのほか、デジタル技術を活用した工夫の在り方
- 重要な理念の関係性の整理（「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学びと協動的な学び」の一体的な充実、「学習の基盤となる資質・能力」等）
- デジタル学習基盤の活用を前提とした、資質・能力をよりよく育成するための各教科等の示し方
- 学習改善・授業改善に効果的な評価の観点や頻度、形成的・総括的評価の在り方（特に、「主体的に学習に取り組む態度」をはじめ観点別学習状況の把握をより豊かな評価につなげるための改善）

3 各教科等やその目標・内容の在り方

- 小中高等学校を通じた情報活用能力の技術的向上を図る方策（生成AI等に関わる教育内容の充実、情報モラルやメディアリテラシーの育成強化を含む）
- 質の高い探究的な学びを実現するための「総合的な学習の時間」、「総合的な探究の時間」の改善の在り方（情報活用能力の育成との一体的な充実等を含む）
- 高等教育段階でデジタル・理数分野への学部転換等の取組が進む中での、初等中等教育段階における文理横断・文理融合の観点からの改善の在り方
- 生成AIの活用を含めた今後の外国語教育の在り方や、手軽に質の高い翻訳も可能となる中での外国語を学ぶ意義についての考え方
- 教育基本法、学校教育法等に加え、こども基本法の趣旨も踏まえた主体的に社会参画するための教育の改善の在り方
- 多くの教科・科目の構成の改善が行われた高等学校教育について、その一層の定着を図るとともに、職業教育を含めた今後の改善の在り方
- 特別支援学級や通級指導に係る特別的教育課程、自立活動の充実等を含む、障害のある子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育の在り方
- 幼児教育と小学校教育との円滑な接続の改善の在り方、設置者や施設類型を問わず、幼児教育の質の向上を図る共通の方策

2 多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方

- 興味・関心や能力・特性に応じて子供が学びを自己調整し、教材や方法を選択できる学習環境デザインの重要性、デジタル学習基盤を前提とした新たな時代にふさわしい学びや教師の指導性の在り方
- 教師に「余白」を生み、教育の質の向上に資する可能性も含めた、子供たちの可能性が輝く柔軟な教育課程編成の促進の在り方（各種特例校制度等を活用しやすきこと、標準授業時数に係る柔軟性、学習内容の学年区分に係る弾力性、単位授業時間や年間の最低授業週数の示し方）
- 高等学校の生徒の多様性に応える柔軟な教育課程の実現のための、全日制・定時制・通信制を含めた諸制度の改善の在り方
- 不登校児童生徒や特定分野に特異な才能のある児童生徒など、各学校が編成する一つの教育課程では対応が難しい子供を包摂するシステムの構築に向けた教育課程上の特例等の在り方

4 教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合うことを含む、学習指導要領の趣旨の着実な実現のための方策

- 教育課程の実施に伴う過度な負担や負担感が生じにくい方（学習指導要領や解説、教科書、入学者選抜、教師用指導書を含む）
- 現在以上に増加させないことを前提とした年間の標準総授業時数の在り方、教育課程の実施に伴う負担に留意した上での、現代的な諸課題を踏まえた様々な教育の充実の在り方
- 新たな学びにふさわしい教科書の内容や分量、デジタル教科書の在り方
- 情報技術など変化の激しい分野において、教師の負担軽減を図りつつ最新の教育内容を扱うことを可能とするための方策
- 各学校での柔軟な教育課程編成を促進し、多様な取組の展開に資する、教育委員会への支援強化、指導主事等の資質・能力の向上の在り方
- コミュニティスクールを含む地域や家庭との連携・協働を促進しつつ、過度な負担を生じさせずにカリキュラム・マネジメントを実質化する方策
- 学習指導要領の趣旨・内容について、保護者をはじめ社会全体と共有するとともに、学校種を超えて一人一人の教師に浸透を促す方法の在り方